

ディベート・マッチを振り返る

ディベートをやってみての生徒の感想

初めてのディベートだったので、自分が何を言っているのか戸惑い、助けを求めたけれど、初めての経験だったので、これからも、もっともっといろいろなことについてディベートをやってみたい。そのときは、自分の意見を戸惑いもせずに、確実に相手に伝えられるようにしたい。

今まで知らなかったことや考えがあやふやになっていたものが、調べてみると、身近なところにいろいろ載っているのだなあとと思った。

人のディベートを聞いてみると、納得できる点や新しい発見、疑問点などがあって、わくわくした。でも、やっぱり自分でディベートをやってみるのが一番おもしろくて、調べることの楽しさやみんなで話し合うおもしろさがよくわかった。機会があったら、またやってみたいと思う。

ディベートは、私たちが社会に出る上で、やっておく必要があると思う。話す力、話し合う力、どれも将来に大切なものばかりで、それを高めることができる。

また、社会の問題を話し合うことによって、より自分が何なのか、どうするべきかを知ることができると思う。ぜひ、もう一度やってみたい。

人前で話すのは小学生の頃からの経験で、すっかり慣れていて。しかし、人前で話し合う今回のディベートは極めて異例で、はじめは大変どきどきしたが、相手の意見や主張を聞いてうちに、そうか、それも言えるかもしれない。だけど、私にはこんな考えがあるんだぞという気になり、自分の言いたいことを気兼ねなく口に出すことができた。いい経験をしたものだ。機会があったら、またやりたい。

自分にディベートができるかとても不安だった。けれども否定側からくる質問に対する意見や疑問を自分で考え、また答えにはなっていなかったが、相手に自分の意見を聞かせることができた。

ディベートは難しいと思っていたけれど、私にもできたので、とても満足した。機会があったら、またやってみたいなあと思った。

一つのことについて本気で討論できるのが、とてもうれしく、またおもしろかった。友達との話し合いが、生徒会等でも活発に行われればすごいと思った。

違うテーマのディベートにも参加したいと思った。他の人の意見を聞いていて、私はこう思うということを経験の中で言っていた。しかし、私はあがり症なので、自分で思ったことを思うように話せない。悔しい。だから、話す力をたくさんつけて、またこういう機会があったら、ぜひ参加したいと思う。